

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	031 荃崎こもれば六斗の森管理運営事業					
予算科目	01-070104-11 こもれば六斗の森施設管理運営に要す			担当部課	経済部荃崎こもれば六斗の森	
市長公約	99	127-3		係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	荃崎こもれば六斗の森条例			SDGs		

事業の概要

対象	施設利用者
目的	安全かつ安心な滞在型余暇施設としての場を提供する。
概要 (取組内容)	敷地内の自然環境の保全、施設利用者に対する施設の充実 観光施設としての適切な管理運営

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	115,020	109,788	77,409	0	
	決算額	(千円)	0	87,209	79,196	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	23,986	46,888	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	57,900	3,000	0	0
		その他	(千円)	0	5,323	29,308	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,926	13,866	13,881	13,996	13,667	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	146.00	108.00	88.00	135.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	宿泊棟利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1,778.0	920.0	1,098.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	宿泊棟（3棟）の利用者数						

2	指標名	キャンプ場利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3,436.0	1,612.0	3,136.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	テント、オートキャンプ場の利用者数					
3	指標名	バーベキュー場利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3,257.0	1,159.0	660.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	屋根なし、屋根ありバーベキュー場の利用者数					
4	指標名	利用料収入 (千円)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	12,895.0	9,943.0	11,273.0	0.0	0.0	0.0
	実績	8,918.0	4,798.0	7,669.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	各施設（キャビン・テント・オートキャンプ場・バーベキュー場）の使用料、バーベキュー用具の利用料、バーベキュー用具レンタル料					
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	キャビン利用者の専用駐車場が、敷地内に確保された。	
成果	バーベキュー利用者のニーズに応えるため、団体用の屋根付きバーベキュー場を整備したことにより、利用者の利便性向上を図ることができた。	
課題	業務	団体用屋根付きバーベキュー場(トイレ併設)の竣工に伴い、隣接する老朽化した屋外トイレの解体が喫緊の課題です。また、新型コロナウイルス感染症の影響により施設利用者が大幅に減少していることから、利用率向上に向けた取組等を検討する必要がある。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	引き続き繁忙期における利用者駐車台数を調査し、不足台数が生じる場合には対応を検討する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	